

この度は当社商品をお買い上げ頂き有難うございます。
本書は製品を正しくご使用頂く使い方・製品説明及び注意事項を記載しております。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行って下さい。

▲警告 下記記載の内容をお守り下さい。お守り頂かないと
火災・感電・故障・怪我の原因となります。

液体・異物が入らないように注意して下さい。また、本製品を高湿・多湿の場所で使用しないで下さい。

本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取付けるパソコン及び周辺機器の取扱説明書を合わせてご確認ください。

異臭・異音がする場合はただちに使用を止め、当社までお問合せ下さい。

本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業して下さい。

本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。静電気が発生しにくい衣類を身につけて作業を行って下さい。本製品を接続する前に必ずパソコンデータのバックアップを行って下さい。

■下記のような場所での使用を必ず避けて下さい。
強い磁気の影響を受ける場所/静電気が発生する場所/振動を受ける場所/火気周辺・高温多湿・結露が発生する場所/直射日光を受ける場所/平らではない場所/漏電・漏水の可能性がある場所/電子機器の影響があつてはならない場所(病院等)/その他、常識では考えられない場所での使用はお止め下さい。

本製品の保証は当社商品の故障に限り有効です。
その使用上生じた他製品の破損・損害及びデータ破損につきましては一切の責任を負いません。必ず付属ケーブルに異常がないかを確認頂くと共にデータバックアップを行って下さい。

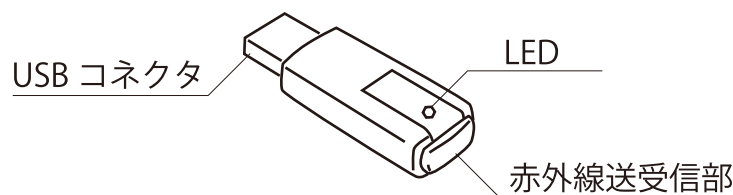
特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
本製品を廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。
最新情報は当社製品サイトにて更新情報が有次第、ご案内していく予定です。

【製品特長】

パソコンの USB ポートに接続する事で IrDA/ 赤外線ポートを増設出来るアダプタです。

商品型番	SD-IRU1F
接続 USB	USB (USB1.1/USB2.0/USB3.0 接続対応)
対応 OS	Windows2000 / XP / Vista / 7 (各 64bitOS 対応)
駆動電力	USB バスパワー駆動 (5V/400mA)
赤外線 Ver	IrDA Ver1.3
最大通信距離	1メートル (最大値)
対応通信方式	SIR モード :2.4K-115.2Kbps MIR モード :576K-1.152Mbps FIR モード :4Mbps
商品サイズ	50×18×10mm
付属品	USB 延長ケーブル (30cm) / 8cm ドライバ CD 取扱説明書 / 製品保証書

【商品スペック】



■USB コネクタ

パソコン本体の USB コネクタと接続します。最大で 5V400mA 前後の電力を使用します。USB ハブや拡張カードに接続しますと正常に駆動しない場合がございます。5V500mA 出力出来る USB ポートとしてパソコンの USB に直接接続を行って下さい。

■赤外線送受信部

赤外線通信を行う部分です。機器の赤外線と向き合わせます。

■LED

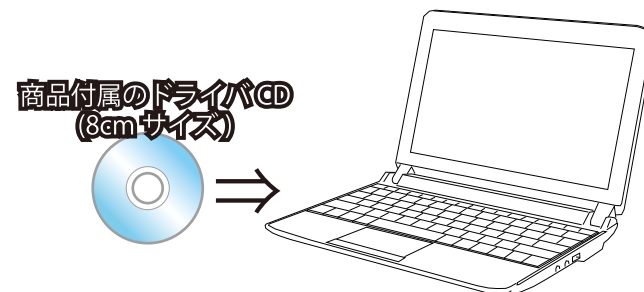
定期的に点滅します。通信中の際は点滅の速度が変わります。

【ドライバをインストールする】

▲ ワンポイントアドバイス

商品はまだ USB ポートに取り付けずに先にドライバをインストールします。

1.OS 起動後にドライバ CD を CD-ROM(DVD/blu-ray ドライブ) に挿入します。



※CD-ROM ドライブが無いパソコン又は 8cm サイズ CD が挿入出来ないパソコンの場合は当社製品サイトよりドライバをダウンロードして下さい。

製品サイト <http://www.area-powers.jp>

WindowsOS 共通

ドライバのバージョンによりましては文字表示が異なる場合がございます。

1 マイコンピュータ デスクトップにある『マイコンピュータ』を開きます。	2 My Disc(D) CR-ROM を開きます。	3 Moschip Moschip フォルダを開きます。	4 MCS7780 NCS7780 を開きます。
5 Win 『Win』フォルダをダブルクリックします。	6 Setup 『Setup』フォルダをダブルクリックします。	7 日本語を選択 『日本語』を選択し『OK』をクリックします。	8 次へ 『次に』をクリックします。
9 次へ 『次へ』をクリックします。	10 インストール 『インストール』をクリックします。	11 続行 『続行』をクリックします。 ※警告が出ますが WHQL を取得していないのみで問題ない事を確認済みです。	12 完了 『完了』をクリックします。

各 OS ドライバインストール後本製品をパソコンの USB ポートに接続して下さい。

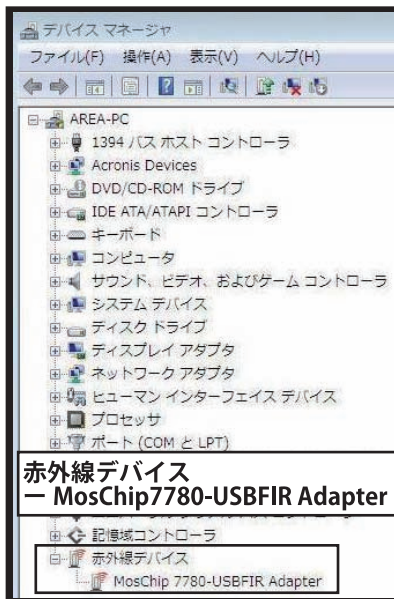
ワンポイント

USB ハブやノート拡張カードの USB ポートに接続される場合、正常に動作しない場合がございます。
これは USB 電力の規定出力 5V500mA が出ていない場合がある為です。
本製品の取付推奨はパソコンの USB ポートとなります。
またノートパソコンをご利用の際は省エネモード等で USB に電力が供給されない場合がございます。

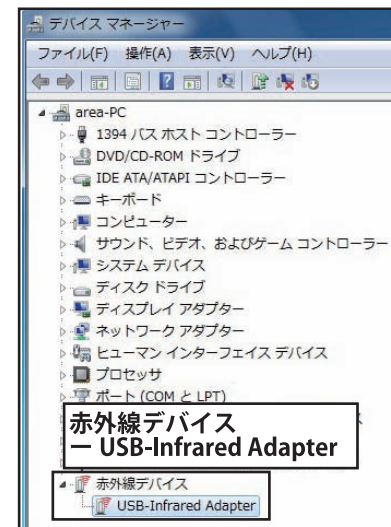


デバイスマネージャーにての認識表示

WindowsVista



Windows7

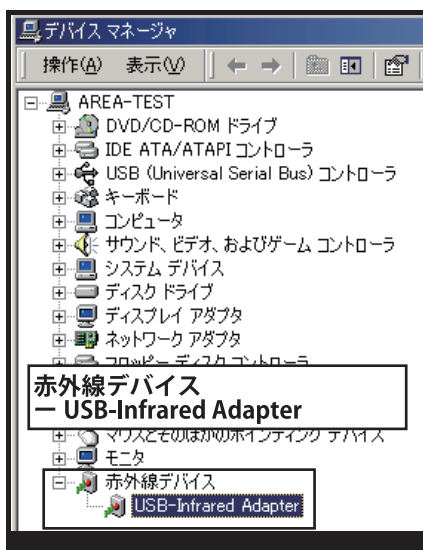


赤外線通信を行う

【次のページを合わせてご確認ください】

デバイスマネージャーにての認識表示

Windows2000



WindowsXP



パソコンから携帯電話に画像を赤外線送信を行う (参考例)

[DoCoMo] P906i

- 1、携帯電話上の左上 2 番目の MENU ボタンを押します。
- 2、LIFEKIT を選択します。
- 3、『赤外線受信』を選択
- 4、IRDA の赤外線ポートと携帯側の赤外線ポートを向き合わせると『ファイルを別のコンピュータに送信』が PC のデスクトップ上に出現するので、ダブルクリックします。
- 5、最後に送信したいファイルを選びパソコンモニタに表示される『送信する』ボタンをクリックしますと携帯側がファイルを受信します。
携帯電話画面に『受信したので保存できますか？』とアナウンス表示が出ますので、『はい』を選びますと保存できます。
以上で受信する事が出来ます。(1.2M以下のファイルまで)

[DoCoMo] F-04B

- 1、一番左上の MENU ボタンを押します。
- 2、LIFEKIT を選択します。
- 3、赤外線・IC・PC 連携を選択します。
- 4、IRDA の赤外線ポートと携帯側の赤外線ポートを向き合わせると『ファイルを別のコンピュータに送信』ウインドウが PC のデスクトップ上に表示されるので、ダブルクリックします。
- 5、最後に送信したいファイルを選びパソコンモニタに表示される『送信する』ボタンをクリックしますと携帯側がファイルを受信します。
携帯電話画面に『受信したので保存できますか？』とアナウンス表示が出ますので、『はい』を選びますと保存できます。
以上で受信する事が出来ます。

[SoftBank] 811SH

- 1、メインメニューを開く (十字ボタンの真ん中)
- 2、設定を選択
- 3、外部接続を選択
- 4、赤外線通信を選択
- 5、ON/OFF 設定を選択
- 6、ON(3 分) を選択
- 7、次に IRDA の赤外線ポートと携帯側の赤外線ポートを向き合わせる事で受信する事が出来ます。(※1.2Mまで)

[au] W33SA II

- 1、メインメニューを開きます。
- 2、赤外線通信を選びます。
- 3、IRDA の赤外線ポートと携帯側の赤外線ポートを向き合わせると『ファイルを別のコンピュータに送信』ウインドウが PC のデスクトップ上に表示されるので、ダブルクリックします。
- 4、最後に送信したいファイルを選びパソコン側ウインドウに表示される『送信する』ボタンをクリックすると携帯側がファイルを受信します。
『受信したので保存できますか？』が携帯画面ウインドウ出ますので、『はい』を選びますと保存できます。
以上で受信する事が出来ます。 ※最大送受信容量 1. 2 M まで

[au] W63CA

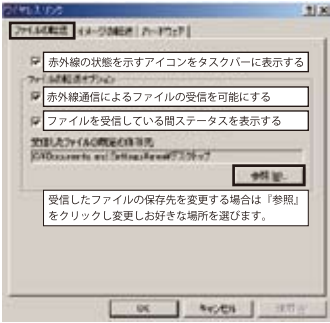
- 1、メインメニューを開きます。
- 2、アクセサリを選択
- 3、赤外線通信を選択
- 4、IRDA の赤外線ポートと携帯側の赤外線ポートを向き合わせると『ファイルを別のコンピュータに送信』ウインドウが PC のデスクトップ上に表示されるので、ダブルクリックします。
- 5、最後に送信したいファイルを選びパソコン側ウインドウに表示される『送信する』ボタンをクリックすると携帯側がファイルを受信します。
『受信したので保存できますか？』が携帯画面ウインドウ出ますので、『はい』を選びますと保存できます。以上で受信する事が出来ます。 ※4M まで受信確認

ファイルの転送場所や赤外線アイコンの設定等が変更出来ます。

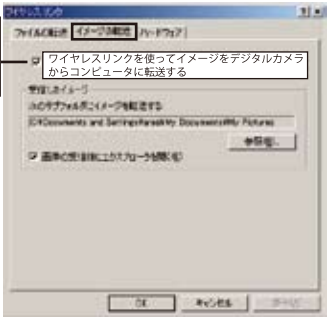
Windows 2000



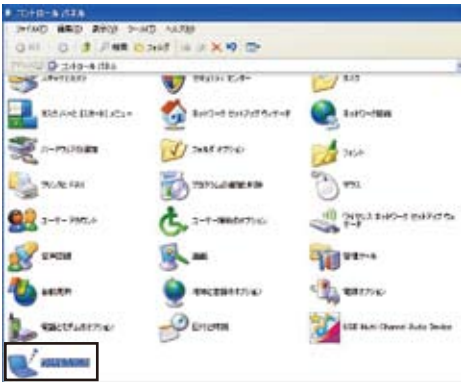
コントロールパネル⇒ワイヤレスリンクを開きます。



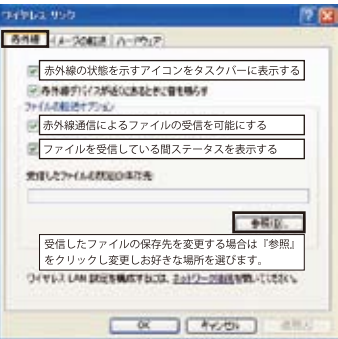
デジカメからの画像を転送する場合はチェックを入れます。
(なお、デジカメの検証は行っておりませんので予めご了承下さい)



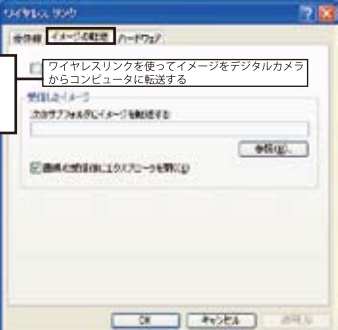
Windows XP



コントロールパネル⇒ワイヤレスリンクを開きます。



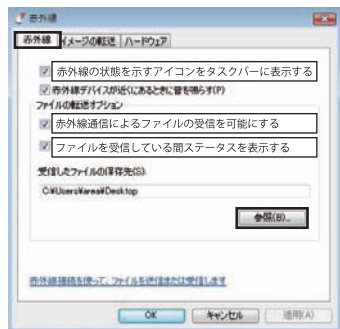
デジカメからの画像を転送する場合はチェックを入れます。
(なお、デジカメの検証は行っておりませんので予めご了承下さい)



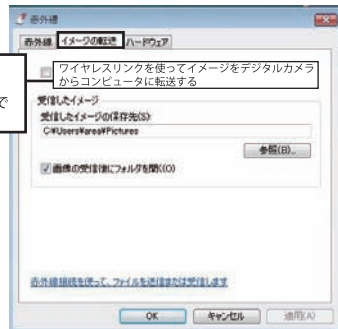
Windows Vista



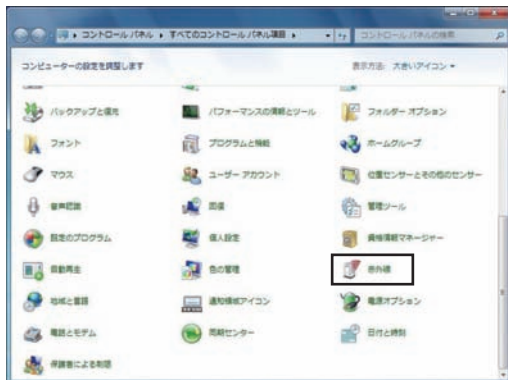
コントロールパネル⇒赤外線を開きます。



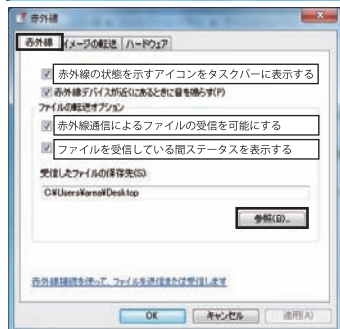
デジカメからの画像を転送する場合はチェックを入れます。
(なお、デジカメの検証は行っておりませんので
予めご了承下さい)



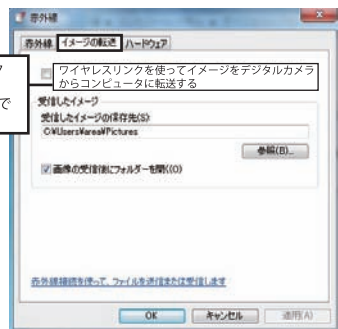
Windows 7



コントロールパネル⇒赤外線を開きます。



デジカメからの画像を転送する場合はチェックを入れます。
(なお、デジカメの検証は行っておりませんので
予めご了承下さい)



携帯電話画像を赤外線でパソコンに送信を行う (参考例)

参考例としまして下記携帯電話での方法をご案内させていただきます。

携帯電話の機種によりましては転送容量制限がございます。お使いの携帯電話の取扱説明書にご確認下さい。

【DoCoMo】F-04B

- 1、MENU ボタンを押します
- 2、LIFEKIT を選択します。
- 3、赤外線・IC・PC 連携を選択
- 4、赤外線受信を選択し送信したい項目を選びます。
IRDA の赤外線ポートと、携帯側の赤外線ポートを向き合わせると PC 画面にて『ファイルを受信しました』のウィンドウが表示されますので『はい』をクリックします。
するとパソコン側がファイルを受信＆保存します。
以上で送信完了です。

【DoCoMo】P906I

- 1、左上 2 番目の MENU ボタンを押します。
- 2、LIFEKIT を選択します。
- 3、次に赤外線送信を選択し送信したい項目を選び送信します。
- 4、赤外線受信を選択し送信したい項目を選びます。
IRDA の赤外線ポートと、携帯側の赤外線ポートを向き合わせると PC 画面にて『ファイルを受信しました』のウィンドウが表示されますので『はい』をクリックします。
するとパソコン側がファイルを受信＆保存します。
以上で送信完了です。

【au】W33SA II

- 1、メインメニューを開きます。
- 2、赤外線通信を選び、送信する項目を選びます。
- 3、赤外線送信を選択して IRDA と携帯の赤外線ポートを向き合わせます。
次にパソコンの画面に、○○○○のファイルを受信しましたというメッセージが表示されるので『はい』
選びます。以上で送信完了となります。
※最大送受信容量 1. 2 M まで

【au】W63CA

- 1、メインメニューを開きます。
- 2、アクセサリを選択
- 3、赤外線通信を選択
- 4、赤外線送信を選択します。次に送信するファイルを選びます。
ファイルを選びましたら IRDA と携帯の赤外線ポートを向き合わせます。
『ファイルを受信』アイコンが表示されますので、『はい』を選ぶとパソコン側がファイルを受信します。
以上で受信する事が出来ます。
※ 4 M まで受信確認

【softbank】811SH

- 1、メインメニューを開きます。(十字ボタンの真ん中)
- 2、データフォルダ (送りたいメニューを選ぶ) を選択します。
- 3、ソフトキーの左側 (メニュー) を押します。
- 4、次に送信を選択して IRDA と携帯の赤外線ポートを向き合わせますと『ファイルを受信しました』
と言うファイルが PC のデスクトップ上に出現するので、はいをクリック。
- 5、パソコン側がファイルを受信＆保存します。

【softbank】922SH

- 1、メインメニューを開きます。(十字ボタンの真ん中)
- 2、データフォルダ (送りたいメニューを選ぶ) を選択します。
- 3、ソフトキーの左側 (メニュー) を押します。
- 4、次に送信を選択して IRDA と携帯の赤外線ポートを向き合わせますと『ファイルを受信しました』
と言うファイルが PC のデスクトップ上に出現するので、はいをクリック。
- 5、パソコン側がファイルを受信＆保存します。本モデルは送信出来ますが受信は出来ません。

※携帯電話によっては赤外線通信を行っても出来ない場合がございます。予めご了承くださいませ。
当社ではあくまでも参考例として表記しているのみで個々の携帯電話でのご利用方法に関しましては
お問い合わせ対応はしておりません。

当社では DoCoMo / au / Softbank 3 社の携帯電話で赤外線転送を確認しております。
DoCoMo の携帯電話では、送信後特殊なフォーマットファイルになっておりそのままではファイル参照が出来ません。

下記にて紹介しておりますフリーソフト等をお客様にてダウンロード頂き、ファイル変換を行って下さい。

ここではフリーソフトの VNT Decode というソフトを用いてのご説明をさせていただきます。

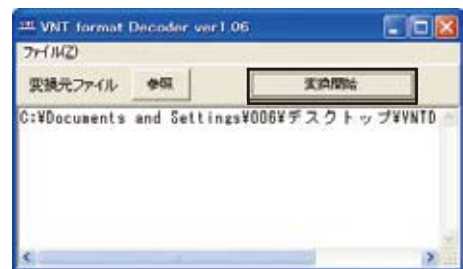
ウェブサイトより上記名前で検索して頂きダウンロードしインストールして下さい。



『参照』をクリックします。



赤外線で送信したファイルを選び『開く』をクリックします。



『変換開始』をクリックします。



『変換終了』をクリックします。



変換前と同じ所に変換後のファイルが表示されます。